

Avalanche  
C1 & C100-S3  
プロフィール切替え手順 Rev.2

株式会社東陽テクニカ

対応バージョン  
4.61以降

2018-8-8



# 本資料について



## ✦ 対象製品

- ✦ SPT-C1 Dual NICモデル (1G/10Gの2枚のNICを搭載したモデル)
- ✦ SPT-C100-S3-MPモデル (筐体のフロントパネル右下にSpirent C100-S3と記載されたモデル)

## ✦ 記載内容

- ✦ 対象製品において、試験に使用する試験ポートの構成を切り替える方法を記載しています

## ✦ 「お問い合わせ先一覧」

### ✦ 価格・納期・製品構成・オプション追加に関するお問い合わせ

- ✦ (株)東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部
- ✦ TEL: 03-3245-1250
- ✦ FAX: 03-3246-0645
- ✦ [ict\\_contact@toyo.co.jp](mailto:ict_contact@toyo.co.jp)

### ✦ 技術的なお問い合わせ

- ✦ (株)東陽テクニカ 第2技術部第4課
- ✦ TEL 03-3245-1107
- ✦ FAX 03-3246-0645
- ✦ [Avalanche-support@toyo.co.jp](mailto:Avalanche-support@toyo.co.jp)

- ✦ 技術部代表宛ではなく、弊社フィールドエンジニアに個人宛メールなどご質問いただけます場合、
- ✦ 外出などで即日対応できずご期待に沿いかねることがございますが、予めご了承願います。
- ✦ お急ぎの場合は、上記技術サポート連絡先にご連絡願います。
- ✦ なお、お電話いただけます際は「Avalancheの技術的なご質問」とご用命いただけますと幸いです。



# 目次



⊕ <b>【事前準備】</b>	p.5-p.12
⊕ 必要なアプリケーションのインストール	
⊕ <b>モジュールプロファイル切替手順</b>	p.13-p.18
⊕ <b>Spirent TestCenter Layer 4-7 Application     ポータリザーブ手順</b>	p.19-p.25
⊕ Spirent TestCenter Layer 4-7 Application シャーシ接続	
⊕ ポータリザーブ/リリース	



## 【ご注意】

守ってね！

**C1**アプライアンスは電源投入後、**試験用1G-NICのLED点滅が消灯してから**、モジュールプロファイルの切り替え作業を開始してください。電源投入直後、十分な時間を待たずにバージョンアップを行なった際、試験用NICの動作が不安定になる可能性があります。

**C1**アプライアンスは**モジュールプロファイル切り替え後に、10分以上放置**してください。GUIで確認できるプロファイル変更完了のメッセージ後に、内部処理でファームウェア情報の更新を行っております。

**C100-S3**アプライアンスは、プロファイル選択肢に非サポートの項目が表示される場合がございます。こちらを選択されますと、機器が起動不良になる場合がございますため、**必ず**”L4L7-Functional”もしくは”L4L7-Performance”であることをご確認ください



## 【事前準備】 必要なアプリケーションのインストール



## 手順サマリ



**【ステップ1】インストーラファイルを入手します**

**【ステップ2】アプリケーションをPCにインストールします**

Spirent TestCenter Layer 4-7 Application.exe

(インストーラのexeファイルはバージョン毎により異なります。)

**【ステップ3】モジュールプロファイルの切り替えを行います**

**【ステップ4】試験Portのリザーブを行います**



## インストーラファイルの入手



✦ GUIアプリケーションのインストーラは弊社からメディア(または電子ファイル)にて提供されています。

✦ Spirent TestCenter Layer 4-7 Application.exe

最新版のインストーラは、弊社の会員サイトからも入手できます。

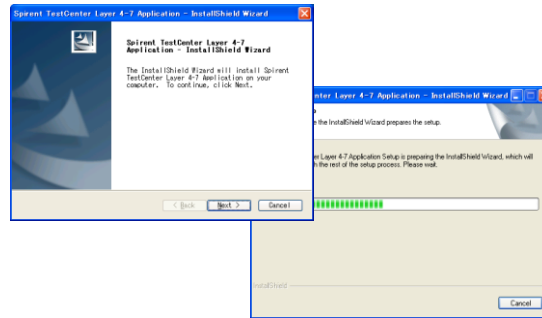
※必要なファイルはご利用の環境によって異なります。  
詳細は弊社営業窓口または技術サポート宛にご連絡ください。



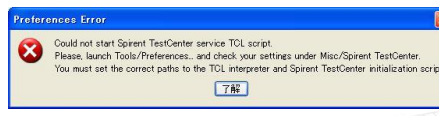
# Avalanche Commander のインストール



- ✦ Spirent TestCenter Layer 4-7 Application.exeをダブルクリックし、ウィザードに沿ってインストールします。
- ✦ バージョンごとに別フォルダにインストールされますので複数バージョン共存が可能です。



インストール後に右のエラーメッセージが表示された場合は、Spirent TestCenterアプリケーションをインストールしてください。



Avalanche Commander(Layer 4-7 Application)のインストール手順:

※Spirent TestCenterモジュールもしくはC1型アプライアンスを使用する場合は、バージョンが合致したSpirent TestCenter Application.exeとSpirent TestCenter用のTclを事前にインストールする必要があります。

1. インストーラの“Spirent TestCenter Layer 4-7 Application.exe”を管理者権限で実行します。(Windows 7の場合は右クリック-[管理者として実行])  
※インストーラのファイル名には特にバージョンが含まれないのでご注意ください。

2. インストーラの指示通りに進めてください。最後に以下のようなメッセージが表示されますが、C1型以外のアプライアンス製品(3100A/3100B/2900/290型)のみをご使用の場合、追加インストールは必要ありません。[OK]をクリックしてください。

“Spirent TestCenter Application is not installed on this system. Please also install Spirent TestCenter Application”



3. Spirent TestCenterシャーシもしくはC1型アプライアンスをご利用の場合は、追加で下記インストーラも実行する必要があります。

“Spirent TestCenter Application.exe”

“TCL 8.4.xx for Spirent TestCenter Automation.exe”



# モジュールプロファイル切替



## モジュールプロファイルについて



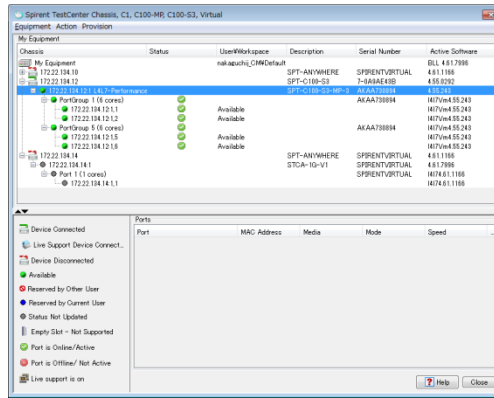
- ✦ SPT-C1/SPT-C100-S3では排他的に使用可能な複数のモジュール構成を保持しています
  - ✦ SPT-C1:1Gモード、10Gモード、Spirent TestCenterモード
  - ✦ SPT-C100-S3:複数種の1G x 'N'port + 10G x 'M'port、Performance モード
- ✦ モジュールプロファイル切替は使用モードの切替に必要な作業です
- ✦ 前回使用者のモードがそのまま持続しています。
  - ✦ **電源再起動でもモード情報は保持されています**
- ✦ 次ページ以降、モジュールプロファイル切替の方法を記載しております。
  - ✦ モジュールプロファイルの切り替えはSpirent TestCenter Applicationから行います。  
起動、ポートリザーブ手順についてはp.17-23をご参照ください。



# モジュールプロファイルの切り替え-1

✦ **Avalanche CommanderのメニューバーAdministrationから、  
“Spirent TestCenter Chassis,C1...”項目を選択します**

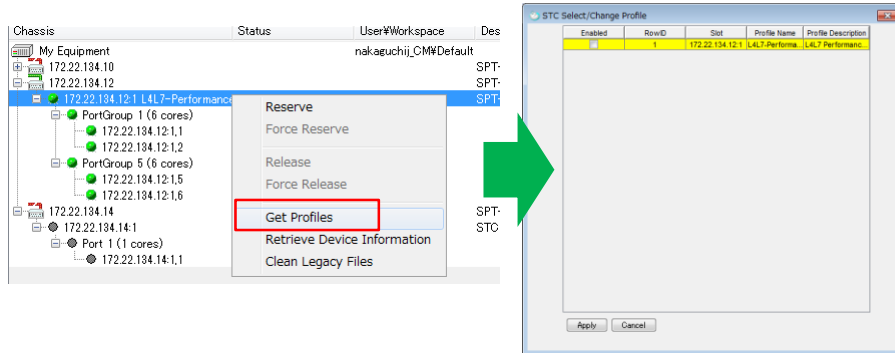
- ✦ “Spirent TestCenter Chassis,C1,C100-MP. C100-S3, Virtual”ウィンドウが表示されます
- ✦ **対象の筐体が未登録の場合は、メニューバーEquipment > Add chassisから登録します**



## モジュールプロフィールの切り替え-2

- 中 パッケージを切り替える筐体の、IPアドレスが記載された緑丸●”アイコンを左クリックで選択し、右クリックメニューから”Get Profiles”を選択します

⇒ “STC Select/Change Profile”ウィンドウが表示されます



# モジュールプロファイルの切り替え-3

✚ Enable列にチェックをONにし、Profile Name列のドロップダウンリストから切り替え先のパッケージを選択します

✚ ※Profile Name列の値を左クリックすることで、リストが表示されます

✚ Applyボタンを選択すると、プロファイルの書き換えが開始されます

✚ C1

Default: TestCenter**モード**

L4L7 2x10G: Avalanche 10G**モード**

L4L7 4x1G : Avalanche 1G**モード**

✚ C100-S3

L4L7 Functional (-XX)

:**通常モード**

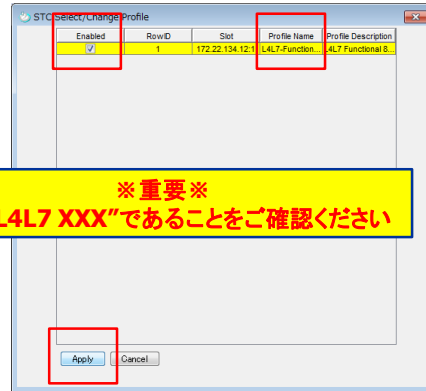
L4L7 Performance (-XX)

:**2ポート分のリソースを1ポートに集約した**

**強力モード**

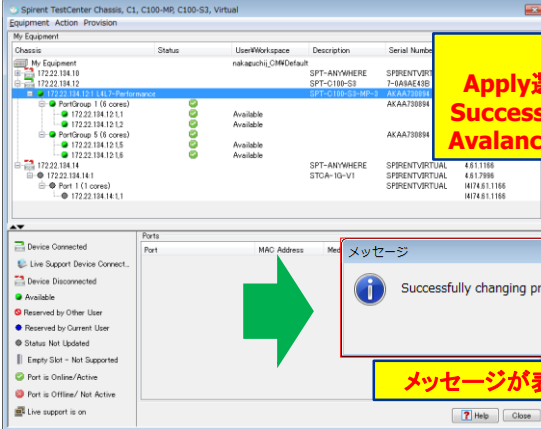
※"-XX"部は試験ポート構成となり、

**筐体モデルにより異なります**



# モジュールプロファイルの切り替え-4

- ✚ Apply選択後はSpirent TestCenter Chassis, C1...画面に戻ります
- ✚ プロファイルの書き換えが完了時にSuccessfullyメッセージが表示されます
  - ✚ Failedのメッセージが表示された場合はP.16をご確認ください



**※重要※**  
Apply選択後に操作が可能となりますが、  
Successfullyメッセージが表示されるまでは  
AvalancheGUIの操作を行わないでください

メッセージが表示されるまでお待ちください



# モジュールプロフィールの切り替え-5

- ✦ プロファイルを切り替えた筐体を左クリックで選択し、Refreshを選択します
- ✦ 画面が更新されます、変更後のプロフィールと合っていることをご確認ください

The screenshot shows the SPIRENT management interface. On the left, a tree view shows the hierarchy of equipment. A context menu is open over the chassis '172.22.134.12', with 'Refresh' selected. A large blue arrow points from the 'Refresh' button to the table below.

Module	Profile	Status	Serial Number	Part Number
172.22.134.12-1 L4L7-Functional-	SPT-C100-S3	Available	7-0A9AF48B	4.55.0482
PortGroup 1 (3 cores)	SPT-C100-S3-MP-3	Available	AKAA730894	4.55.243
172.22.134.12.1.1		Available		4I7Vm4.55.243
172.22.134.12.1.2		Available		4I7Vm4.55.243
PortGroup 3 (3 cores)		Available	AKAA730894	4I7Vm4.55.243
172.22.134.12.1.3		Available		4I7Vm4.55.243
172.22.134.12.1.4		Available		4I7Vm4.55.243
PortGroup 5 (3 cores)		Available	AKAA730894	4I7Vm4.55.243
172.22.134.12.1.5		Available		4I7Vm4.55.243
172.22.134.12.1.6		Available		4I7Vm4.55.243
PortGroup 7 (3 cores)		Available	AKAA730894	4I7Vm4.55.243
172.22.134.12.1.7		Available		4I7Vm4.55.243
172.22.134.12.1.8		Available		4I7Vm4.55.243

## 想定動作にならない場合

- ✦ プロファイルを切り替えたが、プロファイルに記載されている試験ポート数がEnable状態にならない
  - ✦ ご使用のソフトウェアのバージョンが古い場合、Avalanche GUIによるプロファイル切り替え機能が正常に動作しない場合がございます、ソフトウェアのバージョンをご確認ください
  - ✦ 若番のポートがEnable、老番のポートがDisableやAnavailableの場合、起動途中の可能性がございます。さらに10分ほどお待ちいただき、再度Refreshをお試しください。
- ✦ プロファイル切り替え操作後、Failedのポップアップが表示された
  - ✦ プロファイルの切り替え後、GUIに再接続するタイミングで、うまく接続できなかった可能性があります
  - 1. GUIを終了し、タスクマネージャのプロセス項目から、"java.exe"もしくは"javaw.exe"のプロセスを全て終了してください
  - 2. 5分ほどお待ちいただき、再度GUIを起動後、P.15のRefreshをお試しください
- ✦ プロファイルを切り替えたが、試験に失敗する。
  - ✦ 筐体を一度shutdownしてください。





# Spirent TestCenter Layer 4-7 Application **ポートリザーブ手順**

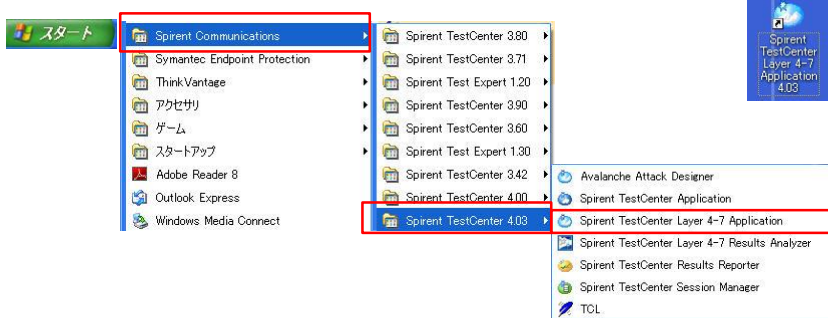


# Avalanche Commanderの起動



✦ 次のいずれかの操作を実行します。

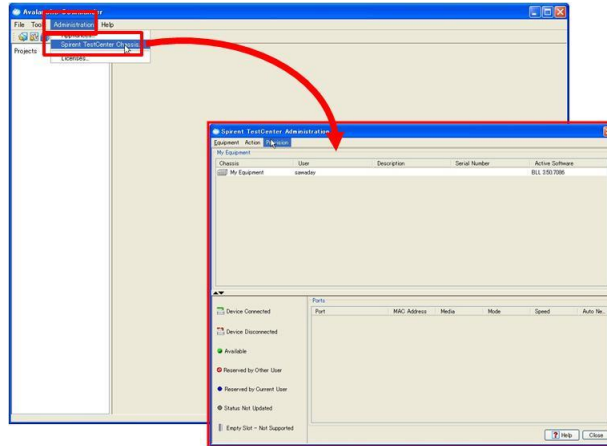
- ✦ デスクトップ上のSpirent TestCenter Layer 4-7 Application ショートカットをダブルクリックする。
- ✦ [スタート]→[すべてのプログラム]→[Spirent Communications ] → [Spirent TestCenter 4.xx] から、[Spirent TestCenter Layer 4-7 Application] を選択する。



# Spirent TestCenterとの接続 (1/3)



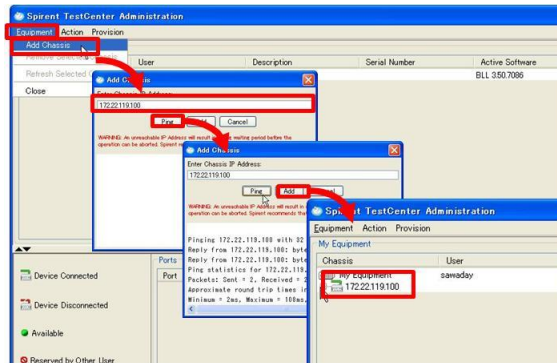
✚ [Administration]から[Spirent TestCenter Chassis...]を選択します。



## Spirent TestCenterとの接続 (2/3)

### —筐体の登録がない場合

- ④ 1: [Equipment]から[Add Chassis]をクリックします。
- ④ 2: 開いた[Add Chassis IP Address]にて、シャーシIPアドレスを入力し、シャーシとの疎通確認のためPingを打ちます。  
(デフォルト: 172.22.200.200)
- ④ 3: 疎通確認ができたシャーシを、Addボタンをクリックして登録します。



# Spirent TestCenterとの接続(3/3)

## — 筐体の登録がある場合



- ✦ 1: 登録された筐体の中から、接続したい筐体を選択し右クリックします。
- ✦ 2: 表示されたメニューからRefreshを選択します。
- ✦ 3: Device DisconnectedからDevice Connectedに変わったことを確認します。
- ✦ ※接続中においてもモジュール挿入等の情報更新の際は、Refreshを行う必要があります。

### 凡例



Proprietary



# ポートのリザーブ

- ✦ 1. 搭載モジュールを認識すると以下のような画面が表示されます。
- ✦ 2. ツリーを展開すると各ポートのリザーブが可能になります。
- ✦ 3. 使用したい**ポートグループ**を選択して右クリックをします。
- ✦ 4. “Reserve”と表示されますので“Reserve”をクリックします。

※stcのPortをリザーブしようとした場合、以下のエラーが表示されます。  
“Reserve Error: “X.X.X.X.X.X” – No L4L7 package installed”

※“Port1.2”のようにまとめて表示されている場合は、**ポートグループ単位**でのリザーブとなります。  
Avalanche(Client)/Reflector (Server)のどちらとして機能するかは、ポートグループ単位で決定されますのでDUTを挟み込んで試験する場合はご注意ください。

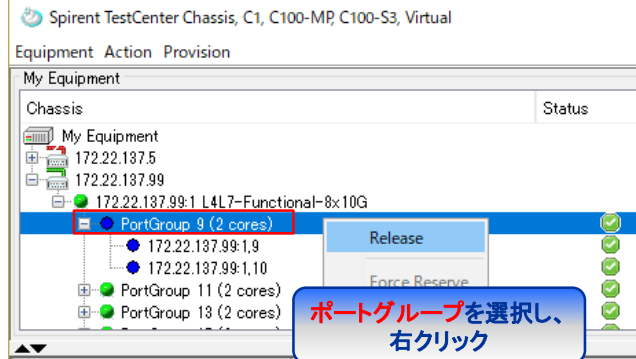
3,4

ポートグループを選択し、  
右クリック

Proprietary & Confidential—Page 22

# ポートのリリース

- ④ 1. リリースしたいポートグループを選択して右クリックをします。
  - ④ 2. “Release”と表示されますので“Release”をクリックします。
- ※使用を終了する際には、“Release”をしてください。



## 更新履歴



- ✦ 2017-02-27 J.N 初版
- ✦ 2018-08-08 N.K. ポートリザープリリースに関する画面差替 (Rev.2)

